

2019 年度事業報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(2020 年 6 月 27 日 第 7 回定時社員総会で承認)

1. 概況

2019 年 7 月の参議員選挙では、市民と野党の共闘が 3 年前に続き実現し 1 人区や複数区での前進により改憲勢力は改憲に必要な 3 分の 2 議席を割る結果となりました。これは、2015 年 9 月成立の“戦争法”に対する市民の怒りに端を発した市民と野党の共同による大きな成果であり前進でした。しかし、政府はその“戦争法”を根拠に昨年暮れに自衛隊の中東派遣を閣議決定し、1 月末に派遣を実行しました。これは日本が戦争をしない国から、戦争をする国になったことを国際的に示すものとなり、戦後日本が平和外交で信頼を得てきた実績を覆すものになりました。

昨年 10 月の消費税増税は、その逆進性（所得が低い人ほど負担が重い）のため、多くの国民は負担増となり国内消費は後退しています。そうしたなか、年明け中国武漢市からの新型コロナウイルス感染症流行は、世界的規模で拡大し日本でも中国帰国者やクルーズ船乗客らの感染からはじまり、国内感染が拡大しました。しかしながら、山梨県地域医療構想会議は、山梨県全体で 2025 年までに病床数を 1,459 床も減らし 6,909 床とするとしています（機能別では高度急性期 535 床、急性期 2,028 床となり、現状に比べて半減する計画）。また、山梨県地域保健医療計画では、中北医療圏は医師充足地域であるとし、そこから峡東・峡南・富士・東部医療圏へ医師を派遣することで地域偏在は解決できるとしています。中北医療圏においても、医師不足による救急医療体制の脆弱化が進むなど実情は深刻です。現場の実態とかけ離れたものであり、これに基づく政策推進は、とうてい容認されるものではありません。感染拡大はウイルスの猛威もありますが、医療費削減政策による病院・病床削減とともに、本来防疫活動を果たす役割の保健所が統廃合され続け、その数は 30 年前に比べ 55%まで減少していることも問題です。感染拡大に対する政府の取り組みは、専門家の意見を聞きながら対応していると言いながら、緊急事態宣言下での補償を伴わない活動自粛は国民生活、経済活動に大きな影響を与え、過去に例をみない重大な局面となっています。

2019 年度の山梨勤医協の医療・介護活動では、外来件数は目標比 98.7%、前年比 98.5%でした。入院件数は目標比 96.1%、前年比 99.1%でした。介護活動は居宅介護支援(ケアプラン)件数が目標比 102.6%、前年比 100.7%、訪問看護件数が目標比 98.4%、前年比 101.8%、訪問介護件数が目標比 101.6%、前年比 99.3%、通所リハ件数が目標比 87.8%、前年比 94.9%、通所介護件数が目標比 86.9%、前年比 89.2%、居宅療養管理指導件数が目標比 100.0%、訪問リハ件数が目標比 101.2%、前年比 105.7%でした。

経営成績では、全事業所合計（共立高看含む）で経常利益 183,909 千円（収益比 1.5%、予算比 70.8%）となりました。税引前当期利益はマイナス 175,573 千円（予算比マイナス 1.4%）と昨年には遠く及びませんでした。群別の経常利益では、病院群 162,329 千円、医科診群 9,227 千円、歯科診群 8,595 千円、在宅ケア群 41,464 千円でした。3 月末現預金残高は 9 億 15 百万円となり、期首より 2,189 千円の減少となりました。月商倍率 0.91 倍でした。協力借入金は期首より 59,575 千円の減少、協同基金も同 11,131 千円のマイナスとなりました。

受療権を守る取り組みとしての無料低額診療は実日数で総患者数に対し 6.5%となり前年より 0.1 ポイント減少しました。事業所別では、甲府 10.2%、巨摩 2.8%、石和 11.5%、甲府診 6.7%、武川診 2.1%、御坂診 1.0%、竜王診 5.1%、歯科センター 4.0%、武川歯科 1.3%、御坂歯科 0.9%、巨摩歯科 0.7%でした。

後継者確保では、2019 年度新採用は医師 5 名、歯科医師 1 名、薬剤師 1 名、保健師 0 名、助産師 1 名、看護師 28 名、放射線技師 1 名、臨床検査技師 3 名、臨床工学技士 0 名、理学療法士 7 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 2 名、管理栄養士 1 名、調理師 1 名、事務 11 名、社会福祉士 1 名、視能訓練士 1 名、介護福祉士 2 名、歯科医師 0 名、歯科衛生士 1 名、歯科技工士 1 名でした。

友の会会員は 16,544 世帯、596 世帯拡大し、退会が 1,088 世帯です。「いつでも元気」誌は 182 増部、147 部の減で 1,288 部となりました。班会は、465 回開催し、4,026 名が参加しました。

2. 組織の概況

① 社員総会の決議

2019 年 6 月 22 日開催			第 6 回定時社員総会 重要な議事・決議事項
総数 275 名			①2018 年度事業報告承認
うち議決権のある社員数 233 名			②2018 年度決算報告及び 2018 年度監査報告承認
			③2019 年度役員報酬の限度額の承認
出席数	本人	58 名	④2019 年度借入金限度額の承認
	委任	23 名	⑤名誉会員推薦承認
	書面	69 名	⑥役員(理事・監事)の選任
合計		150 名	⑦山梨勤労者中長期計画の基本方針の確定

② 組織図

後述

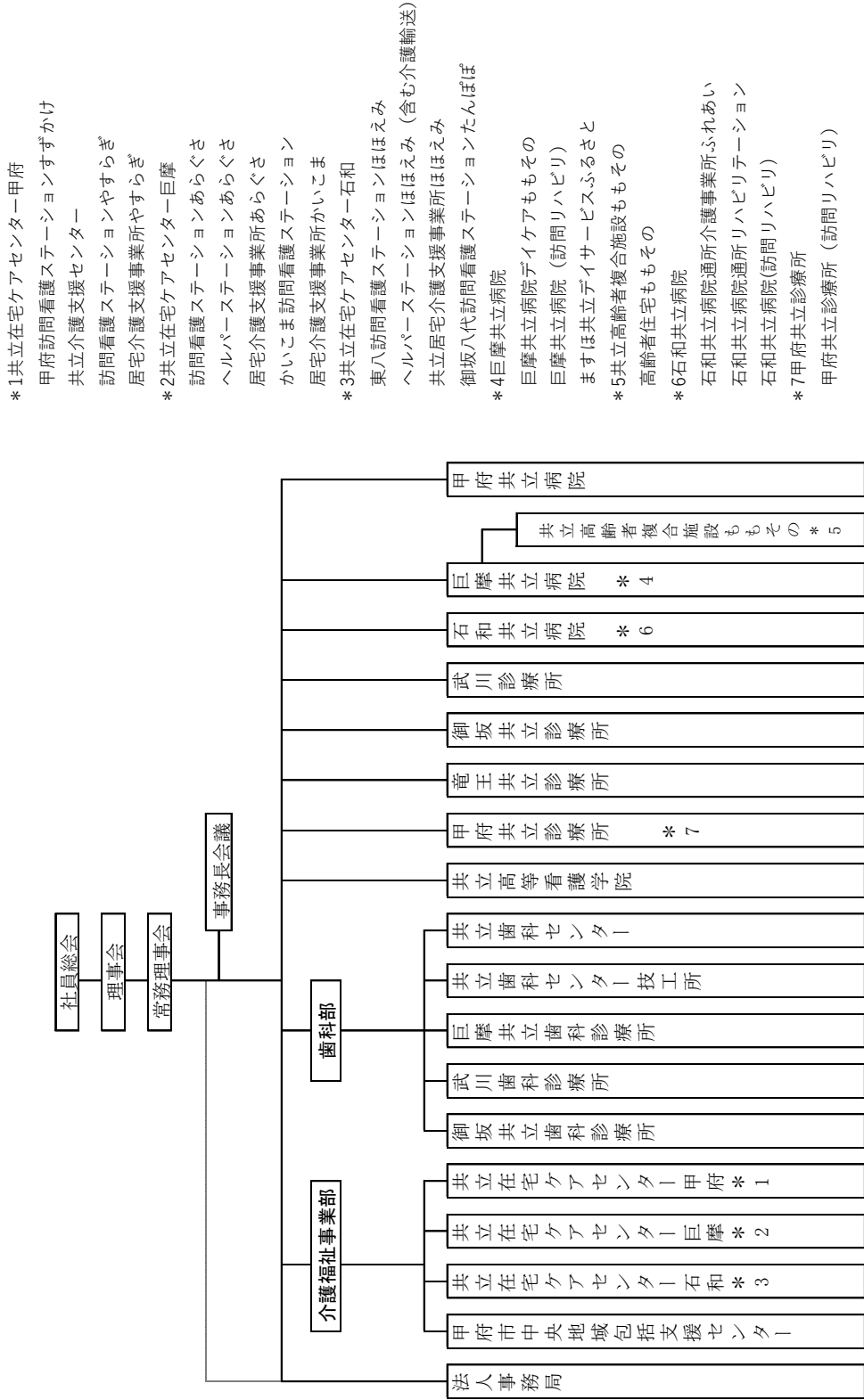
③ 施設数の推移(2020. 3. 31 現在)

	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度
病院	3	3	3	3	3
有床診療所	0	0	0	0	0
無床診療所	5	5	5	5	4
歯科診療所	4	4	4	4	4
歯科技工所	1	1	1	1	1
在宅ケアセンター	5	5	5	5	3
(居宅介護支援事業所)	5	5	5	5	5
(訪問看護ステーション)	6	6	6	6	6
(ヘルパーステーション)	3	3	3	2	2
(介護輸送)	2	2	2	1	1
(福祉用具販売・レンタル)	0	0	0	0	0
包括支援センター	1	1	1	1	1
高齢者施設	1	1	1	1	1
看護学院	1	1	1	1	1

④ 社員・共同組織の状況(2020. 3. 31 現在)

	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度
会員(名)	264	264	276	275	271
内訳 正会員	235	235	239	233	223
内訳 名誉会員	29	29	38	42	48
友の会員(世帯)	18,294	18,092	17,538	17,036	16,544
班数	140	148	148	153	135

⑤ 組織図(2020.3.31現在)



⑥ 施設の状況(2020.3.31現在)

施設名	所在地	摘要
山梨勤労者医療協会 (法人事務局)	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル7階	1955/6/1 創立
甲府共立病院	甲府市宝1-9-1	1961/7/1開設
巨摩共立病院	南アルプス市桃園340	1965/11/1開設
石和共立病院	笛吹市石和町広瀬623	1971/5/25開設
武川診療所	北杜市武川町牧の原1371	1959/7/1開設
御坂共立診療所	笛吹市御坂町八千蔵538-1	1976/9/1開設
竜王共立診療所	甲斐市富竹新田231-1	1993/7/1 開設
甲府共立診療所	甲府市宝1-10-5	2005/12/26開設
共立歯科センター	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル	1974/5/1開設
共立歯科センター技工所	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル	2014/9/1開設
巨摩共立歯科診療所	南アルプス市桃園340-1	2014/10/1開設
御坂共立歯科診療所	笛吹市御坂町八千蔵535-1	1986/3/17開設
武川歯科診療所	北杜市武川町牧の原1371	1986/4/1開設
甲府市中央地域包括支援センター	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル4階	2006/4/1 開設
共立在宅ケアセンター甲府	甲府市丸の内2-9-28勤医協駅前ビル4階	1997/5/1開設
共立在宅ケアセンター巨摩	南アルプス市桃園377-2	1996/12/1開設
共立在宅ケアセンター石和	笛吹市石和町広瀬623	1998/10/1開設
共立在宅ケアセンター甲府(竜王)	甲斐市富竹新田401-4	1999/10/1開設
共立在宅ケアセンター巨摩(武川)	北杜市武川町牧の原1371	1999/4/1 開設
共立高齢者複合施設ももその	南アルプス市桃園379	2011/11/2開設
共立高等看護学院	甲府市飯田3-1-35	1974/2/27許可